都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鹿児島県	市町村名	姶良市	地区名	蒲生（かもう）地区	面積	455 ha

計画期間	平成 20 年度 ～ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ～ 平成 24 年度

目標

都市部との交流人口の増加を図り，将来的には交流人口を定住人口につなげる。
〈整備目標・1〉 日本一の巨樹「蒲生のクス」を中心とした中心市街地の魅力向上を図り，鹿児島県本土の中心部に位置している地理的優位性を活かし，都市住民との交流促進による地域活性化を図る。
〈整備目標・2〉 住環境の魅了向上を図り，安心して暮らせるまちづくりを行い定住促進を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

①まちづくりの経緯
・蒲生町にとって，市町村合併は避けて通れない喫緊の課題であり，平成21年度末までには合併の必要があると考えているが，合併したらすべてが良くなるということではなく，蒲生町はどの市・町と合併しても周辺部に位置することとなり，合併で一般的に言われる，周辺部のさびれの恐れがある地域である。このため，今のうちから「合併後もさびれないまちづくり」に取り組む必要がある。
・「合併後もさびれないまちづくり」を具体化するため，メンバーに公募の住民を含めた「プロジェクト」を組織。（テーマごとの6つのプロジェクト：平成18年9月）
・上記，プロジェクトでの協議・検討を行い，「まちづくり計画」を策定。（平成19年1月）
・住民との協働で策定した「まちづくり計画」を実現するために，「まちづくり計画」に掲載した事業等を盛り込み，蒲生町総合振興計画を改定した。（平成18年度）

②「まちづくり計画」の概要（関係部分）
・農林業振興の具体策→「消費者が求める安全・安心な農林産物の提供」「集落営農組織化の推進」「竹林オーナー制度の創設」
・商工業振興の具体策→「まち並み基本条例（仮称）の制定」「まちづくり基本計画（グランドデザイン）の策定」「商店街やる気支援事業の創設」「空き店舗・空家情報の共有化」
・観光振興の具体策→「蒲生のクスを中心とした観光ルートの整備」（駐車場の整備，永興寺跡・釣鐘の活用，武家屋敷・武家門の活用・情報発信，八幡神社参道の整備，大楠枝の展示，看板の設置など）「イベントの充実」「アクセス道路の整備」

③現況
・「蒲生のクス」周辺に大型バスの駐車場がなく，以前からの課題であった。また，地域住民・観光業者からも「大型バスの駐車場・昼食場所」の設置が望まれている。
・主要地方道伊集院蒲生溝辺線の改良が着々と進み，これが完成すると国道10号線の外環状線として飛躍的に交通量が伸びることが予想される。更に，九州新幹線の全面開通を平成23年の春に控え，団塊の世代を含めた観光客の増加が予想されるなか，県都鹿児島市をはじめとした都市部からの交流人口増加が望めるが，施設整備を含めその受け入れ体制が整っていない。

課題

①蒲生町の課題としては，少子高齢化の進行に伴う人口減少傾向に歯止めをかけることや，主産業である農林業の振興がある。この課題を解決し，蒲生町の活性化を図るため，観光ルートの整備等を行い，交流人口の増加を図り，主産業の農林業の活性化を図ることが必要である。
②前述の「まちづくり計画」策定時の住民代表の意見として，蒲生町の自然・景観を活かした観光ルートの整備等は，蒲生町の課題解決の方策として有効であり，その実現に向けた方策を望まれている。

将来ビジョン（中長期）

①蒲生町総合振興計画については，平成18年度に前述の「まちづくり計画」及び町重点施策を盛り込み改訂を行っている。
蒲生町総合振興計画の基本理念は，「自然と共生し　小さく光り輝くまち　かもう」～“日本一の巨樹「大クス」の郷”から元気発信～と定めている。
②蒲生町総合振興計画のまちづくりの基本目標（6つの基本目標）
・自然と共生するまちづくり（生活基盤の整備）　・安全で快適なまちづくり（生活環境の整備）　・安心して暮らせるまちづくり（保健・福祉・医療の充実）　・元気あふれる豊かなまちづくり（産業の振興）
・心豊かな人・文化を育むまちづくり（教育・文化の振興）　・みんなで創る協働のまちづくり（協働のまちづくりの推進）
③まずは交流人口の増加を図り，将来ビジョンとしては，交流人口を定住人口につなげる。

目標を定量化する指標

指　標	単 位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光入込客数	人/年	交流人口増加のための施設整備や施策の実施により，平成18年の入込み客数232,000人（資料：観光統計調査）を平成24年の目標年には，316,000人に増加させる。	観光ルートの整備等を行い，目標である観光入込客数（交流人口）の増加を図る。	232,000人	H18	316,000人	H24
地区内定住人口	人	交流人口を定住人口につなげるため，住環境の整備と住宅政策を行い，定住人口の増加を図る。具体的には，地区内人口の人口の増加を平成24年の目標年には100人の増加を図る。	交流人口を定住人口につなげるため住環境整備を行う。	4,200人	H18	4,300人	H24